

発刊にあたり



北秋田市長
津谷 永光

秋田県の北部中央に位置する北秋田市は、人口約3万人、面積は秋田県の約1割を占め、ゆつたりとした時間が流れる水と緑に囲まれた美しいまちです。

市の中央部には、夏は「花の百名山」、冬は青森八甲田連峰、山形蔵王山と並び「日本三大樹氷鑑賞地」として名高い県立自然公園の森吉山が勇壮にそびえ、豊かな自然のシンボルとなっています。

また、令和3年7月にユネスコ世界文化遺産に登録された史跡「伊勢堂岱遺跡」、世界一の綴子大太鼓、日本の産業近代化に貢献した阿仁鉱山の歴史とマタギ文化など、世界に誇れる魅力が数多く地域に点在しています。

そして、延伸目覚ましい日本海沿岸東北自動車道やJR奥羽本線、首都圏と本市を1時間で結ぶ大館能代空港、ローカル鉄道の秋田内陸線といった交通体系も充実しており、自然・観光・文化・交通のあらゆる地域資源が融合して個性豊かな都市を形成しています。

将来都市像に掲げる「住民が主役の『もり』のまち」の実現に向けて、市民を主役に市民相互のぬく『もり』や見ま『もり』を大事にし、地方の個性と活力を生かした持続可能なまちづくりを推進します。

北秋田市のあゆみ

平成17年3月22日	鷹巣町、合川町、森吉町、阿仁町の4町が合併し、「北秋田市」が誕生
平成19年9月29日	秋田わか杉国体が開幕。本市ではバレーボール競技・フエンシング競技・山岳競技・アーチェリー競技を開催
平成20年6月15日	第59回全国植樹祭開催
平成22年4月1日	北秋田市民病院が開院
平成22年10月30日	第133回秋田県種苗交換会を開催
平成23年4月1日	県立秋田北鷹高等学校が開校
平成26年7月19日	阿仁熊牧場のヒグマ舎がオープン
平成26年10月11日	北秋田市誕生10周年記念式典
平成26年10月26日	国民文化祭「文芸祭現代詩大会」開催
平成27年4月8日	新生・北秋田市立合川小学校誕生
平成28年4月24日	伊勢堂岱縄文館オープン
平成28年4月30日	市民ふれあいプラザコムコムオープン
平成28年10月22日	日治道鷹巣大館道路 (鷹巣IC〜二井田真中IC) 開通
平成29年9月10日	ねりんピック秋田健康マージャン交流大会開催
平成30年3月21日	日治道鷹巣大館道路 (大館能代空港IC〜鷹巣IC) 開通
平成30年4月24日	北秋田市クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設完成
令和2年12月13日	日治道鷹巣大館道路 (蟹沢IC〜大館能代IC) 開通
令和3年7月27日	伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産登録決定

未来に向けた五つの柱

一、健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり

市民一人一人が自発的に、自分にあわせた健康づくりに取り組み、地域の特性を生かした商業の振興や滞留型観光の推進を図り、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまちづくりを推進します。

二、お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり

地域を進めてきた支え合いの地域コミュニティ活動に対して積極的に支援し、高齢者や障がい者が安定して暮らせるまちづくりを推進します。

三、命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり

子どもを安心して生み育てることができ、未来を担う子どもたちが心豊かでたくましく育つような環境の充実と市民が日常的にスポーツに取り組み、心身ともに健康に暮らせるまちづくりを推進します。

四、自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり

本市の恵まれた自然環境を後世に引き継ぐため、森林・河川環境の保全に努めるとともに、リサイクル体制の確立や省エネ・再生可能エネルギーを推進し、都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化に取り組んでいます。

五、みんなで力をあわせる住みよいまちづくり

地域の身近な場所で、安全・安心を支える消防団や自主防災組織をはじめ、市民が主体となつた通学路の見守り活動等、地域における防災や防犯などの活動支援に努め、安全・安心のまちづくりを推進します。

目次

北秋田市長あいさつ	2
北秋田市が誇る自然	4
北秋田市の文化財	6
北秋田市の特産品	8
一、健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり	10
二、お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	16
三、命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	18
四、自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	22
五、みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	24
市議会・市章・市民憲章	28
北秋田市の統計	30
北秋田市の歳時記	32
北秋田市へのアクセス	34